

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



サウジアラビア王国 Kingdom of Saudi Arabia



都市名	人口（万人）
リヤド	519
ジッダ	343
メッカ	153
マディーナ	110
ダンマーム	90

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2010年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場動向 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 6
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 7

【業界情報】

- 現地主要企業 8
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 9

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 10
- 国際競技大会開催情報 11

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 12

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 13
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 14
- 世帯所得分布 15

【健康・医療】

- 医療費支出 16
- 疾病構造・死亡要因 17

【規制】

- 外資に関する規制 18

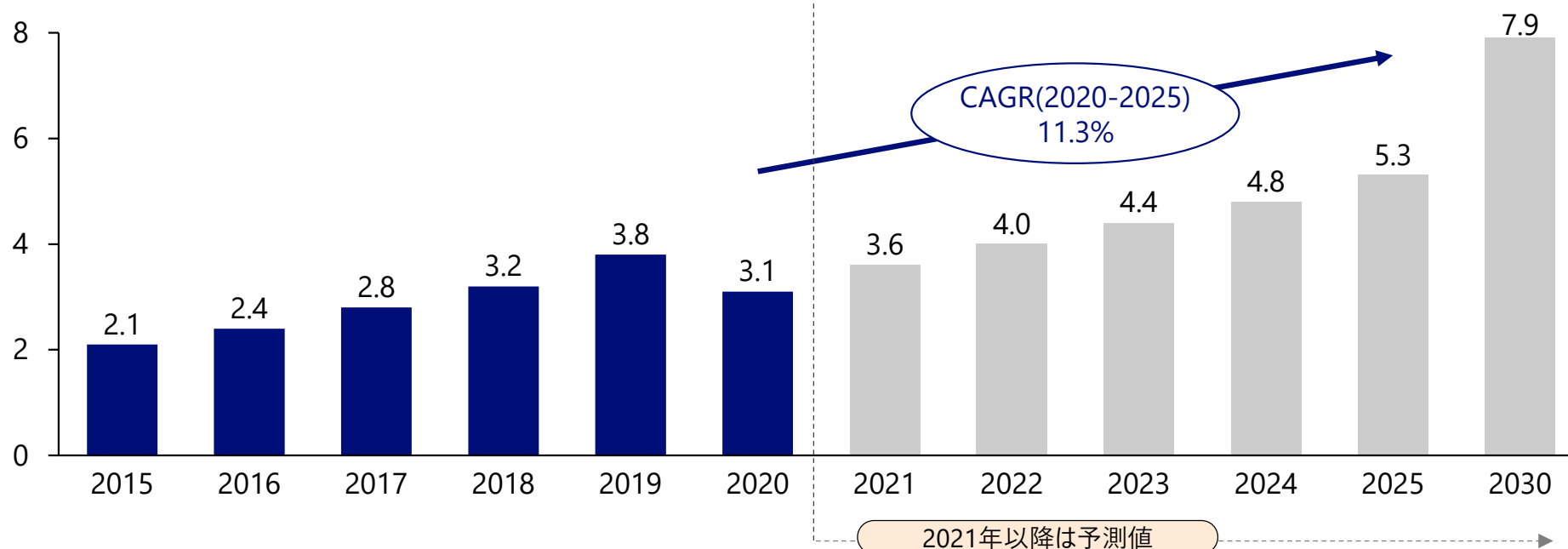
スポーツ産業市場規模推移

■ 2020年のサウジアラビアにおけるスポーツ産業市場規模は約31億ドル。CAGR (2020-2025) は11.3%。

- サウジアラビア政府は、これまでもスポーツセンターへの投資や、サッカークラブへの民間セクター投資の誘致、スポーツインキュベーター (スポーツビジネスに特化したインキュベーター) の設立及び資金調達促進等様々な政策を通じて多額の投資を行っており、スポーツ産業は今後も引き続き成長産業として伸びていくことが期待されている。
- 2021年6月には「Nafes」というプラットフォームが設立され、海外の民間企業や投資家がサウジアラビア国内のスポーツチームやアカデミー等に出資し、経営権を取得することが可能となった。外資の参入によって、産業の活性化はさらに加速するものと期待されている。

スポーツ産業市場規模推移

(US10億\$)

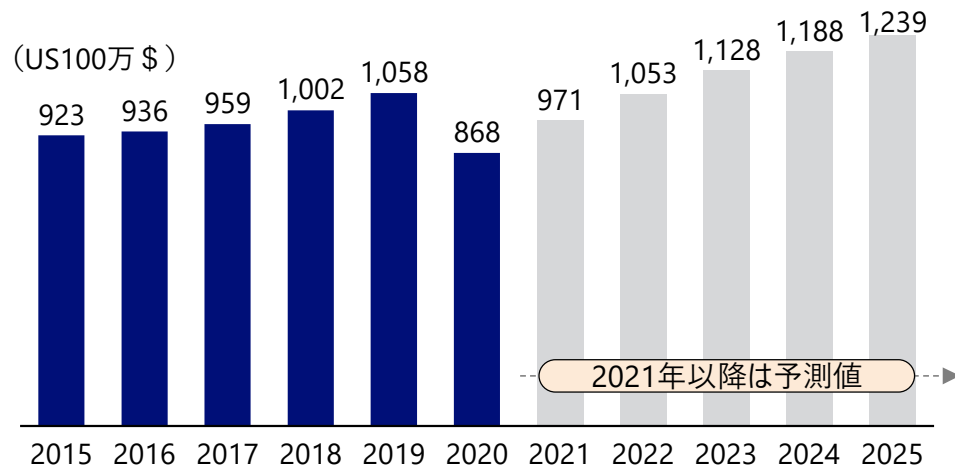


主要コンテンツ市場情報

👕 スポーツウェア市場

- 2020年のスポーツウェア市場は約8.7億ドル（約987億円）。2020年以降のCAGRは7.0%と予測されている。
- サウジアラビアではスポーツウェアがファッショントレンドとして発展しており、快適なファッションとして若年層を中心に人気を集めている。スポーツウェアの販売店舗については実店舗だけでなく、adidas、nike、reebok、SSSports等eコマースサイトも増加しており、今後もeコマースサイトを通じたスポーツウェアの販売は伸びていくと推測されている。

スポーツウェア市場規模推移



(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

🏃 フィットネス市場

- 経済改革計画「Vision 2030」において、スポーツを通じた健康づくり、女性のスポーツ振興に注力しており、今後“家族や女性の参加を可能とする施設”への投資を掲げていることから、フィットネス市場にプラスの影響を与えると期待される。
- サウジアラビアにおける男性用フィットネスセンターの会員数は、2017年までの5年間で14%という高い成長率を示している。一方女性向けのフィットネスクラブの設立認可は2017年に開始し、今後の市場成長の潜在性が高い。

(出所) 日本貿易振興機構 (JETRO) 「サウジアラビアの有望産業 (スポーツ・健康産業) についての投資環境・市場調査」

📱 スポーツテック市場

- 「Vision 2030」においてはスポーツ分野のDX化が施策の一つとして掲げられており、政府の後押しによってスポーツテック分野の動きが一層活性化することが期待されている。
- 国際スポーツ大会の招致に伴うスタジアム整備が進んでおり、それによりデジタルテクノロジーの需要、特に観戦体験価値向上やスタジアム内のサービス向上において高まっており、さらなる変革が求められている。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- サウジアラビアにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.30%と、他国と比較して高い。
 - 政府による積極的なスポーツ分野への投資を通じた後押しにより、スポーツ産業全体が活性化している。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

現地で盛んな競技

- サウジアラビアでは特にサッカーが最も人気のスポーツとなっており、プロリーグも高い人気を博している。その他バレーボール、体操、水泳、バスケットボール等のスポーツが人気*。
- 加えて、伝統的なスポーツとして競馬やラクダレースも人気のスポーツイベントとなっている*。また、アラビア湾沿岸という立地もあり、ウインドサーフィン、セーリング、水上スキー等のウォータースポーツも人気のある娯楽となっている。
- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、サッカー、陸上、空手等。

東京2020大会におけるサウジアラビアの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
空手	1	0	1	0

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
陸上競技	1	0	0	1

*...（出所）The Embassy of the Kingdom of Saudi Arabia「ABOUT SAUDI ARABIA」

**...（出所）Olympics.com「メダル順位」

一人当たりスポーツ支出

- サウジアラビアにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は89.7ドル。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

主なスポーツリーグ・スタジアム

■ サウジアラビアでは1970年代からサッカー、バスケットボールのリーグが活動している。

主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数	主要チーム*	主要スポンサー**
サウジ・プロフェッショナルリーグ (SPL)	サッカー	1976	16	10月～5月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Al-Hilal Al-Shabab Al-Ittihad FC 	<ul style="list-style-type: none"> EMAAR, Jahez, Tawuniya, Sayyart Arkitainer, Aqdar, Bussma B-IT Fitness, Fakeeh, Yelo
Premier League	バスケットボール	1977	10	12月～4月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Al Wehda Al Nasr Al-Fateh 	不明

*2020-2021シーズンにおける順位TOP3のチーム及び主要スポンサー企業を掲載

**出所) flashscore

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
King Fahd International Stadium	リヤド	68,752	1987
King Abdullah Stadium	ジェッダ	60,241	2014
King Abdullah Sports City Stadium	ブレイダ	25,000	1983
MRSOOL Park	リヤド	25,000	2015
Prince Abdullah Al-Faisal Stadium	ジェッダ	20,000	1970 (改修: 2009)

出所) World Stadiums

現地主要企業（スポーツ用品とフィットネス業界）

現地主要企業（スポーツ用品・フィットネス業界）

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
Leejam Sports Co	フィットネス	18,746	中東と北アフリカにてフィットネスセンター「Fitness Time」を運営
Bodymasters	フィットネス	N/A	非上場
Sports Club Company	フィットネス	N/A	非上場

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- スポーツ産業に係る日本企業の進出は確認されていない。

商談会・展示会開催情報

- スポーツ産業に係る商談会・展示会の開催予定は確認されていない。

国際競技大会開催情報

- 2034年にリヤドでアジア競技大会の開催が決定している。

サウジアラビアで開催予定の国際競技大会

大会名	開催期間	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
2034年アジア競技大会	2034年	アジア・オリンピック評議会（OCA）	—	—	アジアの国々のための総合競技大会。「アジア版オリンピック」とも言われる大会

スポーツ基本計画概要

- 経済改革計画「Vision 2030」において、スポーツによる生活の充足に向けた施策目標等が掲げられている。
 - サウジアラビアのスポーツ省は「Vision 2030」傘下で、世界の機関投資家等民間分野による国内スポーツ分野（クラブチーム・アカデミー、スポーツセンター等）への投資を呼び込むプラットフォーム「NAFES」を立ち上げている。

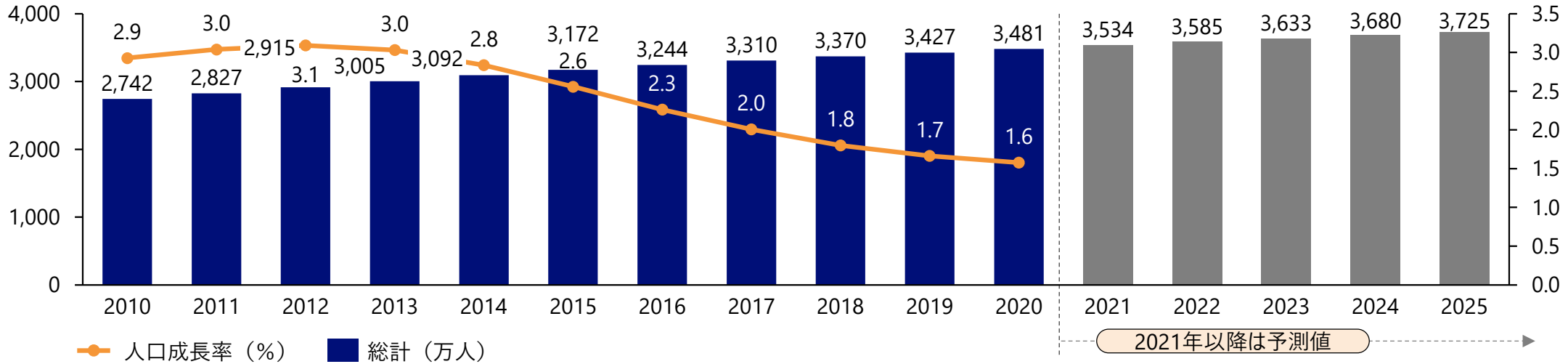
サウジアラビアにおけるスポーツ基本計画概要

計画名称	Vision 2030	策定年	2016年
計画概要	2030年までの経済改革計画。同計画における目標のうち、「Quality of Life」分野において目標達成に向けた取組がスポーツ省中心に取りまとめられている。		
主要目標・施策	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツおよび運動活動への市民参加の拡大 2. 多様なスポーツにおける世界的な卓越性の到達 3. 移住者の生活の質向上 <p>【スポーツ省による20のイニシアチブ】 エリートスポーツセンターの建設、民間スポーツセクターの奨励、スポーツ研究者の育成、家族や女性の参加を可能とする施設の開発、スポーツセクターのデジタル化、活気あるスポーツ空間の整備、クラブのファンアソシエーション、移住者のスポーツ活動の強化、スポーツ基金のガバナンス・運用モデルの開発、スポーツ施設の開発、ファンエンゲージメントの向上、国家訓練戦略の策定・実施、エリートアスリート育成プログラム、活気ある社会の実現、スポーツ視聴の人気向上、パラスポーツの開発、女性のスポーツエコシステムへの貢献、スポーツ連盟への支援、スポーツセクターの戦略策定、主要国際スポーツイベントの計画・開催</p>		
主要KPI	<ul style="list-style-type: none"> ● 2030年までにスポーツ実施率（週に1回運動する人の割合）を40%に向上 ● 今後5年間で約18億ドル相当の投資 ● 首都リヤドに新たなオリンピック村の建設（1億ドルプロジェクト） 		

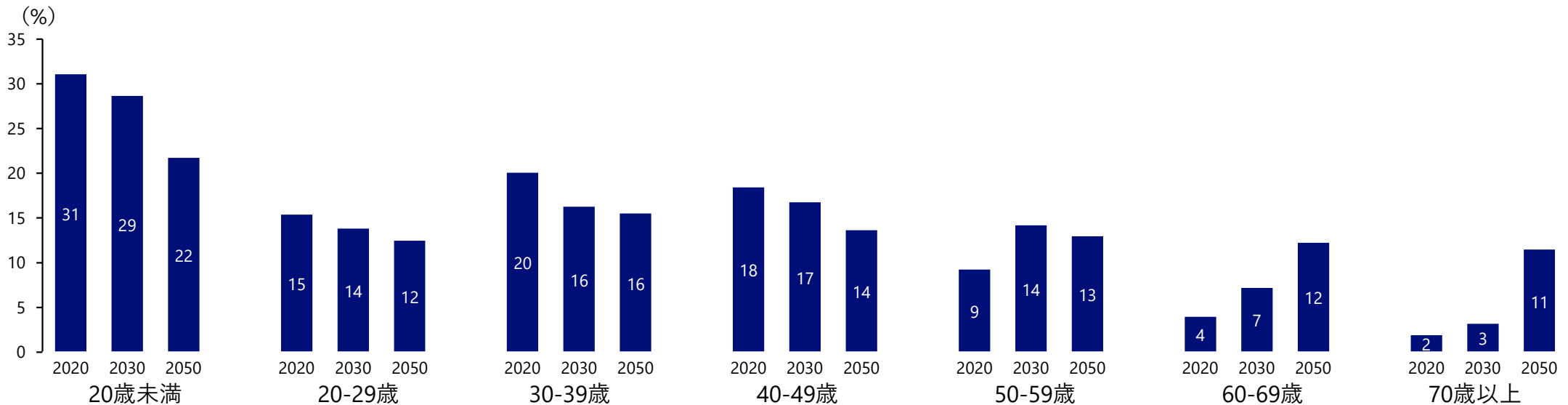
（出所） Saudi Vision 2030 HP

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



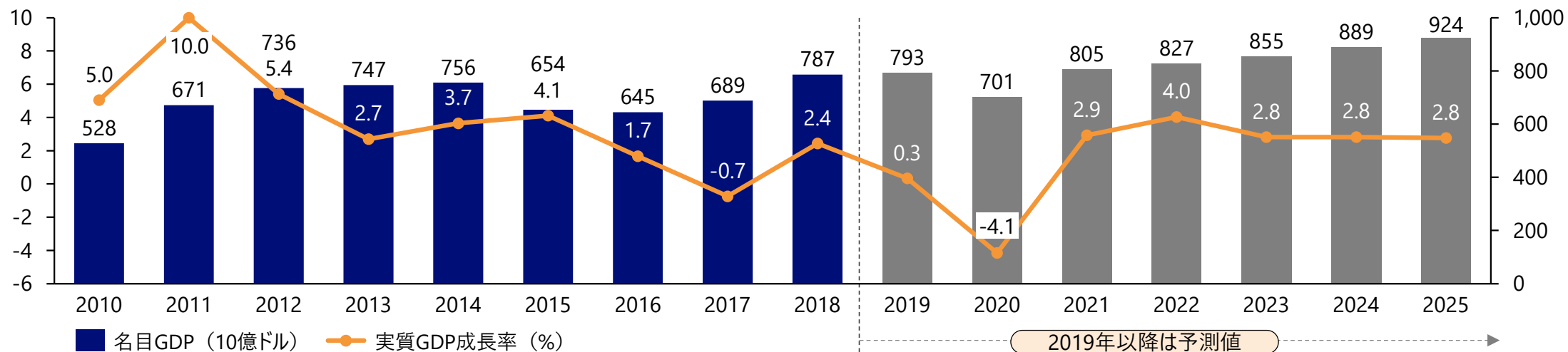
年齢別人口構成



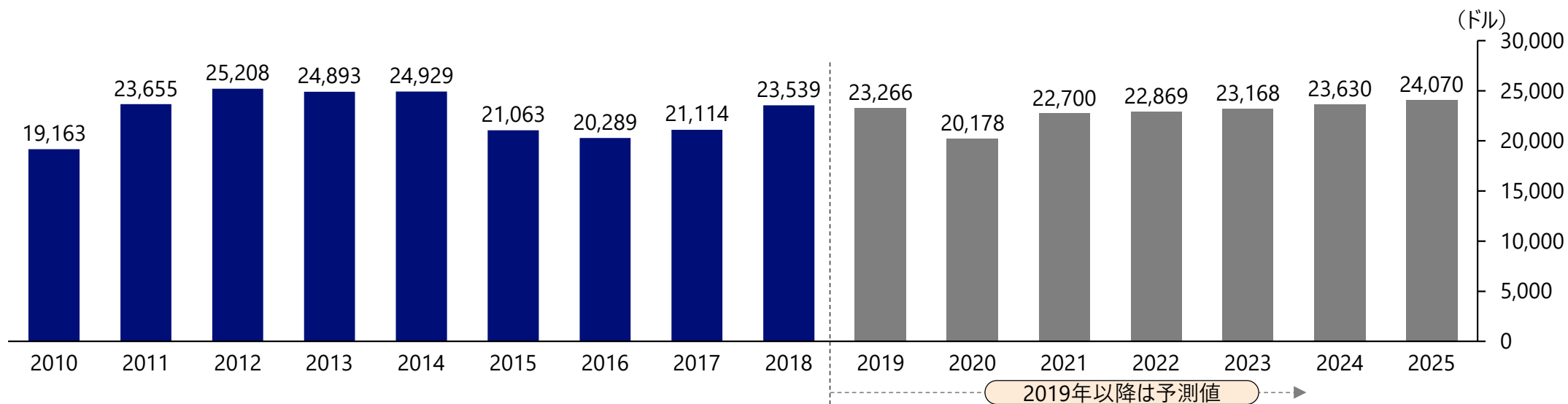
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

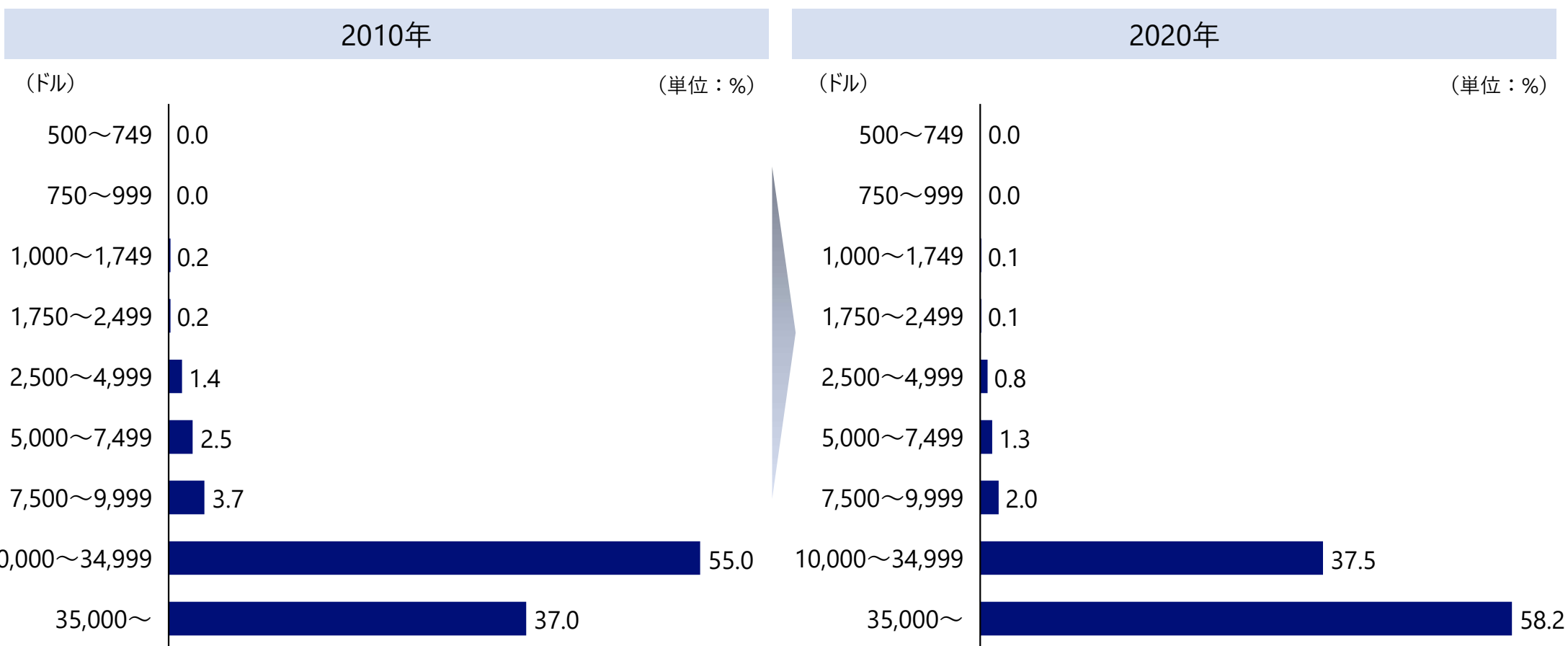


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

■ 2010年には37.0%であった高所得層（世帯所得5,000～34,999ドル）が、2020年には58.2%に増加。

世帯所得分布

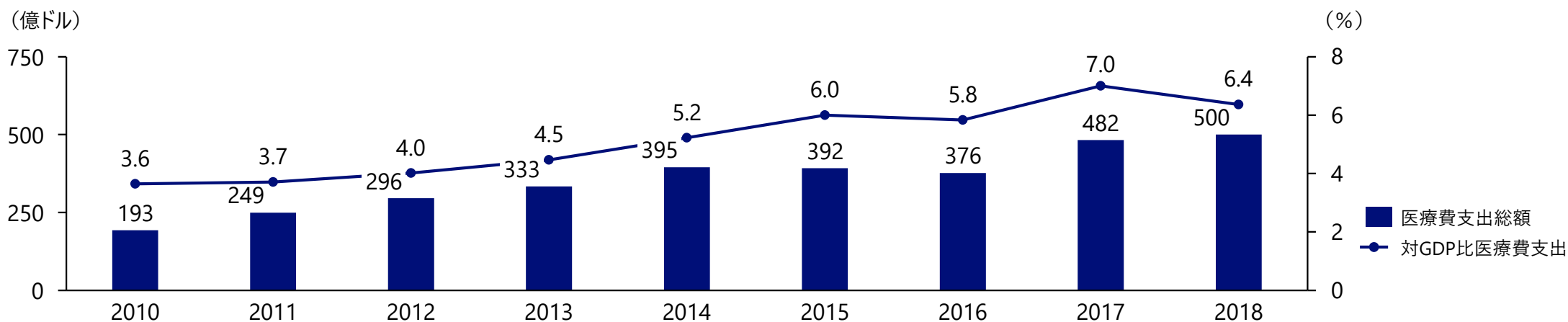


(出所) ユーロモニター

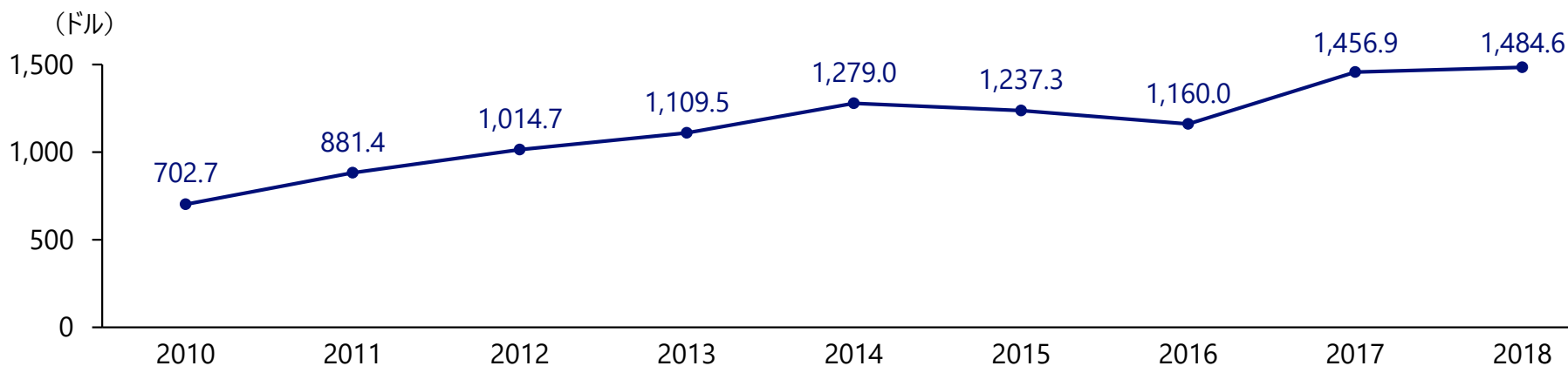
医療費支出

- 2018年の医療費支出は500億USDで、対GDP比で6.4%。
- 2018年の一人あたり医療費は1,484.6USD（約17万円）。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人あたり医療費支出



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ 主要疾患（死亡要因）の内訳としては、虚血性心疾患が最も多く、脳卒中や慢性腎臓病も多い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	23.12%
2	Road Injuries（交通外傷）	16.54%
3	Stroke（脳卒中）	9.87%
4	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	5.40%
5	Lower respiratory infect （下呼吸器感染症）	3.66%
6	Falls（転倒）	3.43%
7	Cirrhosis（肝硬変）	2.93%
8	Diabetes（糖尿病）	2.33%
9	Other unintentional （故意ではない災害 [傷害]）	1.93%
10	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	1.65%

順位	疾病名	割合
11	Congenital defects（先天性欠損症）	1.54%
12	Self-harm（自傷）	1.39%
13	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	1.33%
14	Colorectal cancer（結腸直腸がん）	1.27%
15	Lung cancer（肺がん）	1.16%
16	Breast cancer（乳がん）	1.11%
17	Mechanical forces（機械的な力）	1.07%
18	Tuberculosis（結核）	1.01%
19	Neonatal disorders（新生児障害）	0.85%
20	Asthma（喘息）	0.71%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	
<p>規制業種・禁止業種</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 主な外資参入の規制・禁止業種（ネガティブリスト）はサウジアラビア投資省（MISA）「ネガティブリスト "Services Manual 8th Edition" の「14.01 Appendix(1):List of Businesses Excluded from Foreign Investment」を参照」。 • 一部分野では、段階的に規制が緩和されている。主な規制緩和分野は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> • 禁止されていた卸売業、小売業、フランチャイズ分野への外資参入を出資比率75%まで許可（2008年末） • 輸入販売業も75%まで認められ、小売・流通・輸入分野の外資出資比率を、条件付きながら100%に引き上げ（2016年） • サウジアラビアの代理店を通さない輸入品の卸売および小売業での直接取引を許可 • 外国銀行の出資比率の上限を、40%から60%に引き上げ
<p>出資比率</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外資100%での現地法人設立も可能だが、代理店業、保険・金融業、通信業、建設施工管理などのEPC（Engineering, Procurement and Construction）については、規制がある。 【卸売業および小売業（輸入業、代理店等を含む）】 • 2008年末に外資の出資比率上限が75%に引き上げられた。2016年6月には小売・輸入・流通業を外資に100%開放する旨の閣議決定を行った。しかしながら、外資100%は条件付となっており、対象となるのは、製造工場や新技術を有しサウジアラビア人の雇用を創出する大企業に限定されるなど、完全に外資に開放されているとは言えない。 （詳細条件はhttps://www.jetro.go.jp/world/middle_east/sa/invest_02.html参照）
<p>外国企業の土地所有可否</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 非サウジアラビア投資家は、「非サウジアラビア投資家の不動産所有及び不動産に関する法律」により、一定の条件の下で、ライセンス当局（内務省）の承諾を得ることを条件に必要な不動産（土地含む）を所有することができる。
<p>資本金に関する規制</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 資本金は、進出業態、進出業種によって決められる。以下は業種・業態別の資本金の例である。 <ul style="list-style-type: none"> • 小売・卸売・貿易業：外資出資比率上限75%であれば2,000万リヤル（外資出資分）。外資100%出資の場合3,000万リヤル以上。 • 株式会社（Joint Stock Company）：50万リヤル
<p>その他規制</p>	<ul style="list-style-type: none"> • サウジアラビア外国投資法の中には、細かい規制がある。例えば、自国民雇用政策「サウダイゼーション」と同政策をプログラム化した「ニタカート」は、サウジアラビア人の雇用状況に応じたペナルティーを設けている。 • その他、Local Contents強化の動きがある。 • 2021年2月、サウジアラビア政府は、サウジアラビアに中東地域統括本社（Regional Head Quarter）を移転しない外国企業が、サウジ政府および関係機関との契約ができない制度を2024年から導入すると発表。